

兵庫県 伊丹市立図書館本館

基本データ

所在地	兵庫県伊丹市宮ノ前 3丁目7番4号
職員数	31人
うち司書数	17人
蔵書数	361,386冊
利用登録者数	54,471人
年間貸出冊数	1,554,885冊 (児童用図書貸出数 688,561冊)

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】子供の読書啓発、子供に対するサービスの充実

【活動のねらい】

- 中高生の図書館利用が少ないことを受け、旧館から新館への移転時に児童書・一般書とは別に中高生向けのコーナーを新たに設置した。それに伴い、司書の目線だけでなく、現役高校生の意見が直接反映される魅力的なコーナー・蔵書を目指し、図書の選定を含めて運営を企画するための市内高校生によるYA会議を設置した。
- ① 図書館利用が特に少ない中高生の利用促進
- ② 中高生の居場所づくりのため、当館の既存自習室よりも開放的な雰囲気の中高生専用自習スペースを設置
- ③ 現役高校生が運営に携わることで、より中高生が求めるコーナー像へと近づける
- ④ 高校生によるコーナー運営を通じて社会教育活動の場を提供
- ⑤ 学校、学校図書室との連携

取組・活動の概要

(1) YA コーナー

- 市内高校4校から有志の生徒が「中高生に魅力的な図書コーナー」を目指して、図書の選定やコーナーづくりを手掛ける。

【対象】中高生(13-19歳)のヤングアダルトと呼ばれる世代

【内容】

- 中高生用勉強机(一人用)×4
- マガジンラック、展示用棚、書棚
- 掲示板



YA コーナー

(2) YA 会議

- YA コーナーの運営を話し合う会議体の設置。

【対象】市内高校に在学の有志の生徒

【頻度】毎月不定期の木・金 2回

【活動内容】

- YA コーナーの運営、年2回の選書、広報紙の編集・発行、掲示物作成、図書館内イベントへの参加など。



YA 会議の様子

取組・活動の工夫や特徴

【工夫・特徴】

- 市内高校生がコーナーの運営を行っていることが最大の特徴である。

- YA コーナーにおいての選書は通常の選書基準とは異なり、高校生の意見がより反映されるよう、柔軟に設定している（雑誌を含む）。
- 学習、留学や進学、就職に関するコーナーを設けている。

【改善内容】

- YA 会議発足当初は、各学校の図書委員が YA 会議に参加していたが、生徒の主体性を尊重し、有志の参加に変更した。
- 学校、学校図書館との連携が不可欠であるため、担当職員が市内 4 高校を訪問し、図書室の見学や情報交換を行っている。

取組・活動の成果や今後の展望

【取組・活動の成果】

- YA コーナーの蔵書(ライトノベル、趣味の本、進路・就職についての本)の充実
- 市内高校の教諭、学校司書と図書館との連携が取りやすくなり、それぞれの立場から見る高校生の読書事情の情報共有や、相談などが随時行えるようになった。
- 高校生が学年や学校の垣根を超えて交流・活動ができ、委員会や部活動とも違った経験ができる場となっている。高校卒業後も図書館に愛着を持ち、利用し続ける生徒も多い。
- YA 会議に参加する生徒が図書館のイベントなどに参加し、おすすめの本や YA 会議の活動について発表することで、同年代の利用者や普段は高校生の意見を聞く機会が少ない大人へも効果的な PR ができている。

【今後の展望】

- YA 会議に参加する生徒が徐々に減少しているため、どのように参加生徒を増やしていくのが課題。
- 現在、YA 会議への参加者は市内の高校に通う生徒のみを対象としているが、今後は市内在住のすべての高校生に参加対象を拡大。

YA 会議の会場を図書館本館だけではなく、市内高校や図書館分館、公民館などの公共施設で開催することにより、活動の幅を広げる。

